

\*\* 2020年11月改訂(第4版 新記載要領に基づく改訂)  
\* 2011年10月(第3版)

機械器具(13)聴診器

一般医療機器 機械式聴診器 13755000

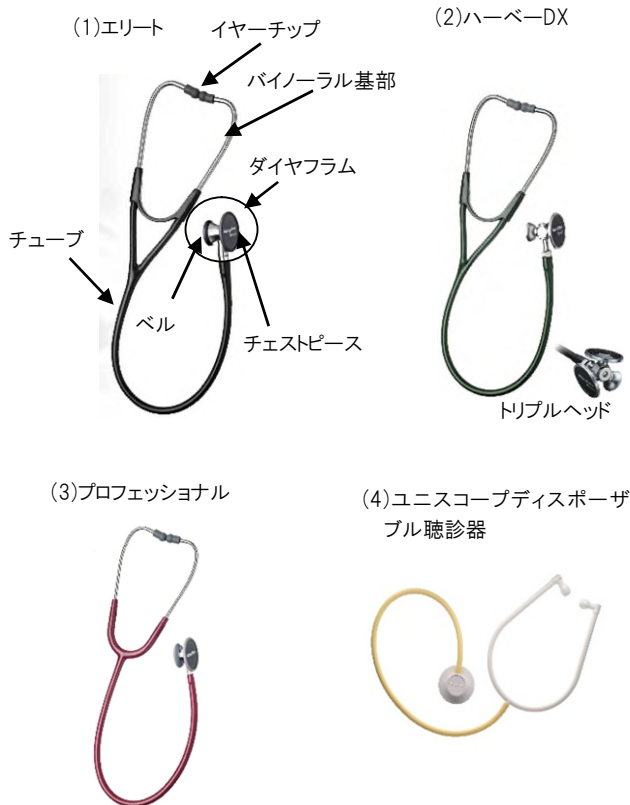
ウェルチ・アレン 聴診器

**\*\*【形状・構造及び原理等】**

\*\*本製品は、圧力計、バイノーラル、チューブ、チェストピースから構成されています。

上記構成の組み合わせによって以下に示す4種類があります。

- (1) エリート
- (2) ハーベ DX
- (3) プロフェッショナル
- (4) ユニスコープディスポーザブル聴診器



ハーベ DXには、ダブルヘッドとトリプルヘッドの2種類のチェストピースがあります。

No.	名称	機能
①	イヤーチップ	ユーザーの外耳道に挿入される部分です。
②	バイノーラル基部	チューブと接続して耳に固定します。
③	チェストピース	患者の体表に接触させて音を集める部分です。
④	ベル	チェストピースがお椀型をしたものです。
⑤	ダイヤフラム	チェストピースに振動板を張ったものです。
⑥	チューブ	チェストピースとバイノーラル基部を接続します。

品目仕様等

バイノーラル部は、使用者に合わせて角度、装用圧の調節可能です(ディスポーザブル聴診器は除く)。

**\*\*【使用目的又は効果】**

本品は、患者の体内音を聴取するために用いる機械式聴診器です。

**\*\*【使用方法等】**

1. 付属のイヤーチップ(「ソフト」及び「ハード」各2サイズ)から、使用者の耳道に最も合うものを選択してバイノーラル部先端に取り付けます。
2. バイノーラル部の角度を使用者の外耳道に最も合う角度に調節します。角度の調節は、片側のバイノーラル部を把持して反対側を好みの角度になるよう回転させます。通常イヤーチップが僅かに前方を向く様に調節します。但しディスポーザブル聴診器は調節不可です。
3. イヤーチップの使用者の外耳道への装着圧を使用者の好みにより調節する。圧を弱くする際は、バイノーラル基部の両側を把持して、外側へ広げることで行います。圧を強める際は、バイノーラル部を内側へ絞ります。但しディスポーザブル聴診器は調節不可です。
4. チェストピース(ヘッド)部は、ダイヤフラム付の高音域用とベル型の低音域用に分かれています。聴取する体内音に応じて使用するヘッドを選択してください。但しディスポーザブル聴診器は調節不可です。
5. 患者の聴音部に押し当て、体内音を聴取します。

**\*\*【使用上の注意】**

- ・本品に患者の体液・血液などが付着した場合は、速やかに洗浄又は拭き取りの上、感染予防のための処置(殺菌・消毒)を行ってください。
- ・チェストピースを患者に使用する際は、不快感などを与えないため過度の力を加えなでください。
- ・チェストピース部は、洗浄などのため液体に直接浸さないでください。内部に液体が侵入し、完全に乾燥されない場合体内音の聴取に影響が出る可能性があります。
- ・バイノーラル部は、必要以上に曲げないでください。バイノーラルのバネが折れることがあります。
- ・紫外線殺菌灯などの設置された場所に放置すると、イヤーチップ、チューブ、リムなどが劣化する恐れがあります。
- ・ディスポーザブル聴診器は一人の患者のみに使用し、他の患者には使用しないでください。
- ・本品は乾熱又は高圧蒸気滅菌は行わないでください。熱による変形・劣化の恐れがあります。

**\*\*【保管方法及び有効期間等】**

清潔な場所に保管してください。

**\*\*【保守・点検に係る事項】**

**洗浄・清掃方法**

- ・イヤーチューブとチューブは消毒用エタノールで拭くか、中性洗剤液で洗浄した後、完全に乾燥させてください。
- ・チェストピース部は、消毒用エタノールを含ませた柔らかい布などで拭いた後、完全に乾燥させてください。
- ・ダイヤフラムを取り外して清掃する場合は、ダイヤフラムをチェストピースに固定しているリムを押し外します。取り外したダイヤフラムを取り付ける際は、チェストピース上にダイヤフラムを乗せ、押し外したリムを元の位置に確実に戻して下さい。

**\*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】**

**\*\*製造販売業者**

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社

**\*\*外国製造所(国名)**

Welch Allyn Inc.(米国)

ウェルチ アレン、インク